

山形県の古木・名木 No.24

熊野神社の大イチョウ (くまのじんじやのおおいちょう)

南陽市宮内字坂町3707-1

南陽市宮内、熊野神社の境内にあり、根周り7.7m、高さ約30m、銀杏としては県内でも有数の巨木である。樹齢は数百年に及ぶものと推定されている。秋には葉が鮮やかな黄色に染まり、地域の風物詩となっている。源義家が後三年の役のあとに、家臣の鎌倉権五郎景政に命じて植えさせたという伝説が残っている。

昭和31年11月山形県天然記念物に指定されている。〔山形県森林協会〕

(案内略図)



山形県森林協会
設立 1959年11月24日
発行所 新 庄 市

根周り7.7m、高さ約30m、銀杏としては県内でも有数の巨木である。樹齢は数百年に及ぶものと推定されている。秋には葉が鮮やかな黄色に染まり、地域の風物詩となっている。源義家が後三年の役のあとに、家臣の鎌倉権五郎景政に命じて植えさせたという伝説が残っている。

山形県指定文化財(天然記念物の部)
熊野神社の大イチョウ
KUMANO JINJA NO OICHO

山形県指定文化財(天然記念物の部)
熊野神社の大イチョウ
KUMANO JINJA NO OICHO



【森林やまがた48号(2001年3月)記載】